



ユネスコエコパーク通信

Vol.1(R7.6.12 発行)

ユネスコエコパークについて知っていただくため、「ユネスコエコパーク通信」を発行することにしました！

第1回目となる今回は、ユネスコエコパークの基本的な内容をお伝えします。

ユネスコエコパークとは？



図：祖母・傾・大崩 BR 公式パンフレットより

ユネスコエコパークは日本国内での通称で、正式名称は「生物圏保存地域(BR: Biosphere Reserves)」と言います。

ユネスコエコパークとは、生態系の保全と持続可能な利活用との調和を目的として、1976年にユネスコが始めた事業です。世界自然遺産が手つかずの自然を守ることを原則とする一方、「ユネスコエコパーク」は自然保護と地域の人々の生活とが両立した持続可能な発展(自然と人との共生)が目的となっています。

ユネスコエコパークに登録された地域は、自然と人との共生している地域として国際的に高く評価されています。2024年7月現在の登録総数は136か国759地域(うち日本国内は10地域)で、そのうちの1つが佐伯市を含む「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」です。

もうすぐ
登録8周年！

そぼ かたむき おおくえ 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークとは？

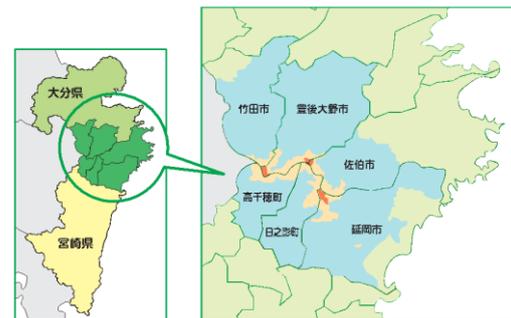


Sobo,
Katamuki
and Okue
Biosphere Reserve

大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾・大崩山系とその周辺地域は、多様で貴重な生態系が発達した地域です。この地域の人々は、豊かな自然を敬い守るとともに上手に活用しながら暮らしてきました。

こうした豊かな自然と人との共生の歩みが国際的に評価され、佐伯市宇目を含む6市町は、平成29年6月14日に「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」としてユネスコエコパークに登録されました。

これからも自然と人との共生しながら、人々が紡いできた文化や暮らしを次世代に継承していくため、様々な活動に取り組んでいます。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録地域
大分県：佐伯市、竹田市、豊後大野市
宮崎県：延岡市、高千穂町、日之影町

発行：観光・国際交流課 観光係(エコパーク担当)